

島外ガイド・旅行会社へのヒアリング(アンケート) 結果

(1) ヒアリングの目的

利尻山登山道の適正利用への対策を効果的に講じるために、利尻山における登山利用の実態や利用者（島外のガイド・旅行会社）の認識を把握することを目的として実施した。

(2) ヒアリング対象者

- ・北海道山岳ガイド協会に登録している利尻山登山ツアーを実施しているガイド (37名)
- ・利尻山登山ツアーを催行した旅行会社（登山計画書提出） (13社)

(3) ヒアリング結果概要

▼回答数

回答者種別	回答数	アンケート送付総数	回答率
ガイド	9	34	26%
旅行会社	4	16	25%
合計	13	50	26%

▼6月中旬～7月初旬にツアーが集中する理由

- ・高山植物が見ごろになり、礼文島とのセットのツアーが組める。
- ・本州の梅雨を避けることができる。
- ・その他の山域がシーズンに入る前（※7月以降は大雪山や北アルプスがシーズンとなる。）

▼6月中旬～7月初旬にガイド・旅行会社ツアーを組みやすい理由

- ・7月中旬～8月中旬にかけて航空運賃のレートが上がるため、その前の時期が魅力
- ・交通費や北海道観光などを含めて比較的高額な料金設定がしやすい。

▼他の百名山との登山ツアー参加者属性の違い

- ・特に、違いはなく、60代を中心に40代～70代がツアー参加の中心である。
- ・トムラウシ山の日帰り登山と同じレベルの上級との山行はツアー会社を通じてアナウンスされているが、たまにレベル的に疑わしい参加者もいる。というガイドからの回答があった。

▼登山における配慮について

(安全管理)

- ・「悪天時に無理をしない」「ガイドレシオの遵守」「参加者の状態・持ち物の把握」と答えたガイド・旅行会社が多かった。
- ・旅行会社ではツアー参加者のレベル分けにより、参加者のレベルにあった登山を実施している旅行会社があった。

(自然環境への影響への低減)

- ・「利尻ルール」の内容を守るとしている回答が最も多い。
- ・1パーティーの人数を少なくしているという旅行会社があった。

(登山道混雑緩和)

- ・「声の掛け合い」「道の譲り合い」「なるべく早朝出発を心がける」が多い。
- ・「雪の多い時期に行く（4月）」というガイドもいた。
- ・ガイドからは入山100人以下/日の行政の対応が必要との意見もあった。

▼登山ツアー開催にあたっての情報集先

- ・利尻島での情報収集先は、ガイドはガイドのネットワークを使い、先に登山したガイドや現地の知人に聞くことが多い。旅行会社は、宿泊施設や地元役場、現地ガイドからの情報収集が多かった。
- ・その他の山域でも同じ傾向。ガイド以外の情報先として、森林管理署、地元役場、観光協会などの公的な機関からの情報収集が多くなっている。

▼登山ツアー開催にあたって収集する情報

- ・利尻山については主に開花情報や融雪状況、登山道状況などの情報を収集している。また、混み具合について情報を収集しているガイドがいた。

▼「利尻ルール」の印象

- ・ガイド・旅行会社の「利尻ルール」についての理解は高く「とてもいいことだと思う」「わかりやすくいい」との意見が多い。
- ・ツアー参加者の「利尻ルール」理解度では、事前に説明しておくことが参加者から理解を得られるポイントである。
- ・一部のガイドからは、「なかなか理解がもらえない。」「無理強いはリピーターになりにくい。」「厳しいガイドといい加減なガイドの違いが出ている。」「若干ストックについてわかってもらえない方がいる」という声も聞かれた。
- ・携帯トイレはブースが少ないため時間がかかり大変。携帯トイレの普及とともにトイレブースの混雑が課題となっている。

▼「利尻ルール」などの普及にガイドや旅行会社が協力しやすくなる方法

- ・特に道外ガイドと旅行会社への周知徹底を、まずしてほしいという意見が多い。また、参加者へ事前配布できるようにパンフレットの提供して欲しいとの意見があった。
- ・現地（フェリーターミナルや登山口）でパンフレットやポスターの掲示などでの周知や、登山雑誌への掲載が効果的だという提案があった。

▼登山利用の制限が行われた場合の影響

- ・制限を肯定する声がガイド3、旅行会社1、否定的な意見がガイド4、旅行会社2と、利用制限もやむを得ないという意見も聞かれた。否定的な意見では収入減や、入山できる人の不公平感が理由に上がっている。

▼登山道維持のためにできること

- ・登山道修復資材の荷上げ協力が最も多く、入山料・募金箱の設置（インターネット・パンフレットでの使い道の公表が条件）やツアー人数を減らすという意見もあった。
- ・ツアー参加者への利尻ルールの徹底といった啓蒙のほか、啓蒙する側となるガイドへの説明会の実施の提案があった。

▼利尻島からの情報発信についての意見・アイデア

- ・インターネットでの情報発信が求められている。特に求められている情報は、日々変化する情報で、混雑日を避けた山全体での調整のための①混雑状況の発信（大人数のツアーの入山予定）・②残雪・開花情報だった。
- ・「利尻ルール」については、フェリーターミナルなど多くの登山者が目にする場所でのパンフレットの設置や登山雑誌への掲載が意見として挙がった。

▼その他自由意見のまとめ

- ・登山道の整備が遅れているという認識が多く、登山等整備への要望が多い。
- ・登山集中時の制限について予約制を設けては。という意見があった。
- ・登山道補修や清掃登山に参加していて、島民の利尻山に対する意識が低いと感じているガイドがいた。